NTT-AT コミュニケーションシステム事業本部の「事業コンセプト」と「新しい取組み」

NTT-ATの概要とコミュニケーションシステム事業本部の事業概要

NTTアドバンステクノロジ（以下、NTT-AT）全体を一言で言うと、４つの技術分野（先端技術、ネットワークソリューション、システムソリューション、リサーチ＆コンサルティング）で技術ビジネスを展開する「テクノロジ・インテグレータ」だ。 この中で、「コミュニケーションシステム事業本部」は、2005年４月１日にNTT-MEグローバルソリューション本部がNTT-ATへ事業移行し、８つ目のプロフィットセンターとして新組織でスタートした。同本部は、これまでの事業を継続するとともに、NTT-ATならではの新しいミッションを加えて事業展開している。

本部内組織は、５つの事業ユニットでスタートしたが、その中の光インタコネクション事業ユニットは、NTT-AT社内の既存事業との一層のシナジー効果を狙い、７月１日に先端技術事業本部へ事業統合している。

NTT-AT取締役・コミュニケーションシステム事業本部の有馬修二本部長は、事業の基本スタンスについて、「自身の事業特徴をより一層磨きつつ、かつ先端技術事業本部をはじめとした他本部と連携しながらより魅力的なソリューションを提供していきます。」と語っている。

これまでの事業経験を通じて学んだことと、これからの新しい取組み

同本部は、NTTインターナショナル（NTTI）時代に始まる15年以上に及ぶシステム事業経験を持っている。NTTI時代（1991年より1999年９月末まで）には、グローバル市場で活用できるシステムを直接調達（一次販売代理店）の重要性とネットワークアクセス技術の重要性を認識し、「IMAC-NET構想」を発表し、「国際バージョンのマルチメディアシステム事業」を開始。NTT-ME時代（1999年10月より）には、グローバル競争に勝ち残る「知識経営への脱皮のためのITソリューショ

NTTアドバンステクノロジ㈱　取締役
コミュニケーションシステム事業本部
本部長　有馬 修二氏

事業ユニット	主な取扱い商品
グローバルIPシステム（GIPS）事業ユニット	①インテリジェント・ロード・バランスシステム（BIG－IP） ②ファイア・ウォール（SonicWall）　③SSL－VPN（FirePass等） ④メール・ファイア・ウォール（MXtreme）　⑤Webアプリケーション・ファイア・ウォール（TrafficShield）　⑥帯域制御システム（NetEnforcer）
コンタクトセンタシステム（CCS）事業ユニット	①コンタクトセンタシステム（ULTRA、APROPOS等） ②Web会議サービス（TOCSR等）、（CollaboUSB JP等）
ユビキタスコミュニケーションシステム（UCS）事業ユニット	①IPテレビ会議システム（Tandberg、PCS、viaIP、i・See） ② キャリアグレード音声会議システム（CONTEX　Summit等） ③VOCALNET CT開発プラットフォーム&CT（映像）アプリケーション ④Voice&Video over IP開発プラットフォーム（SIP等プロトコルスタック等）
マルチメディアネットワークシステム（MMNS）事業ユニット	①超高速光IPネットワークシステム（WDM、メディアコンバータ、DR） ②マルチサービスIPコンセントレータ（AXNシリーズ） ③高度VoIPネットワークシステム（MSC／VocieFlow） ④次世代ネットワーク設計コンサルティング&エンジニアリング
（2005年7月1日より　先端技術事業本部）光インタコネクション事業ユニット	①光コネクタ清掃ツール（CLETOP） ②光測定器&各種光ツール&光コア技術 ③ME-Wiring：構内光配線ソリューション

図１ 事業ユニット別主な取扱い商品

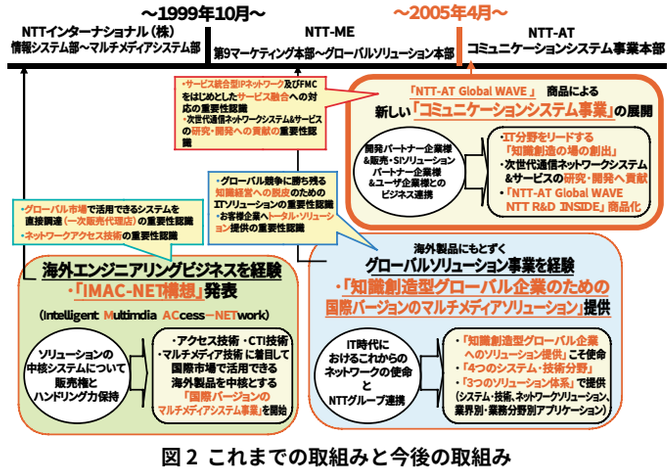

図２ これまでの取組みと今後の取組み

ン」の重要性と「顧客企業へトータルソリューション提供」の重要性を認識し、「知識創造型グローバル企業のための国際バージョンのマルチメディアソリューション提供」を進めた。そして、2005年4月からは、「これまでの事業を継続するとともに、NTT-ATならではの新しいミッションとして、次世代NTTネットワークシステム及びサービスの研究・開発支援に貢献していくことに加え、『NTT-AT Global WAVE商品』とNTT R&D成果に基づくシステム・技術を組み合わせて、一層魅力的なネットワーク・ソリューション商品や業界別・業務分野別アプリケーション商品を企画・販売し、一般市場拡大に貢献していきます。」（有馬修二本部長）と、同本部主要ミッションを述べている。

顧客企業からの要求と、ネットワークを取り巻く大きな技術動向

企業にとって、大競争時代を生き抜くビジネスのグローバル化への対応と事業の継続性確保、顧客・パートナー企業・グループ企業間等事業連携、新しい価値創造型事業への挑戦が求められている。このようなビジネス環境の実現に向けて、顧客企業からは、「知識創造的情報環境の構築」または、「効率的なアクセス手段の提供」が求められている。同本部では、NTTグループがキャリアとして提供する新しいネットワークサービスと、顧客企業の現状と今後の方向を見定め、パートナー企業と連携して、この要求に応えていくとしている。特に、これからのネットワークは、マルチサービスIP統合網への効率的なマイグレーションが加速し、合わせてFMCをはじめサービス融合の時代を迎える。このような企業を取り巻く環境の変化を見据えて、同本部では、NTTの新しいネットワークサービスに加え、①オフィス間ネットワークシステム＆IP統合アクセスシステム、②オフィス内IP統合ネットワークシステム、③マルチメディアコンタクトセンターシステム＆オフィス受付システム、④IPネットワーク利用型幅広い・各種IP対応サーバ＆端末システム・ITオフィスの４種類のシステム群からなる、次世代のグローバルビジネスを支える「次世代グローバルビジネスITプラットフォーム（GBIT-PF）」構想を掲げ、顧客企業が要求する規模の大（Large）・小（Small）、機能の豊富（Rich）・標準（Standard）により４つのパターン（SS、SR、LS、LR）に分類して、ソリューション展開していくことを考えている。

「NTT-AT Global WAVE」商品の基本コンセプト

「NTT-AT Global WAVE」商品の基本コンセプトは、グロバールな視点で精選した国際バーションのマルチメディア／コミュニケーションシステムという点だ。そして「NTTグループの新ネットワークサービス」と「NTT-AT Global WAVE」商品を組み合わせた魅力的な各種ソリューションを「テクノロジ・インテグレータ」として、知識創造型グローバル企業等へ提供することである（図３）。

図３ 「NTT-AT Global WAVE」商品の基本コンセプト

「NTT-AT Global WAVE」商品は、①コラボレーション＆コンタクトセンタシステム技術、②リッチメディア＆ユビキタスコミュニケーション技術、③インターネット＆セキュリティシステム技術、④光＆マルチメディア・ネットワークシステム技術等、４つのシステム・技術分野をカバー。図４に示すように、

①「NTT-AT Global WAVE　システム・技術商品」

②NTT及びNTTグループの新しい

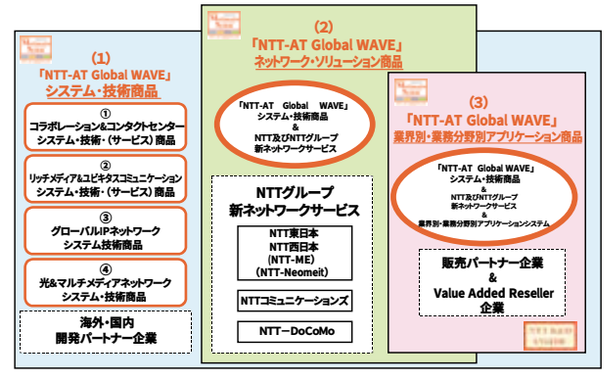

図４ 「NTT-AT Global WAVE」商品(3つのソリューション体系)

ネットワークサービスと組み合わせた「NTT-AT Global WAVE　ネットワーク・ソリューション商品」

③特定の業界から固有に求められる要求条件に応えるアプリケーションや、多くの産業において共通的に存在し改善が求められる業務分野別アプリケーションを対象とした「NTT-AT Global WAVE　業界別・業務分野別アプリケーション商品」

の３つのソリューション体系に基づき、顧客企業に対して、パートナー企業と連携して提供している。

真の「テクノロジ・インテグレータ」として新しいコミュニケーションシステム事業を展開

NTT-AT コミュニケーションシステム事業本部では、各種マーケティング活動、及び開発パートナー・販売パートナー・ユーザー企業とのビジネス連携を推進するため、①「NTT-AT Global WAVE」公開テクニカルセミナー、②小規模ハンズオンセミナー、③有料トレーニングコース、④出張テクニカルセミナー、⑤ソリューション実践研修等を通じて積極的に活動している。

「私たちは、このような活動の場を“IT分野をリードする知識創造の場”（図５）と位置づけて取り組んでいます。開発パートナー企業様、販売パートナー企業様＆Value Added Reseller企業様、私どものユーザー企業様、そして私たちNTT-AT コミュニケーションシステム事業本部が、それぞれのパーティとビジネス連携を深め、特に“テクノロジ・インテグレータ”としての視点で、特別な連携活動を実施することにより、参加企業群全体の知識創造スパイラルを共に上げることを目指しています。」（有馬修二本部長）という。

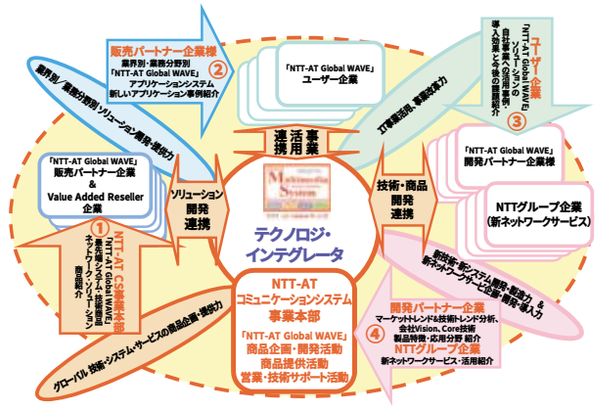

図５ IT分野をリードする知識創造の場

各事業ユニットが今後注力する、重点システム・技術・ソリューション分野

「NTT-AT Global WAVE」商品を具体的に適用する通信網構成上のターゲットエリアは、①超高速IP光コアネットワーク＆IP統合型光アクセスネットワーク、②インターネット・データ・センタ＆高付加価値アプリケーションサービス・データ・センタ、③マルチメディア・コンタクト・センタ＆次世代型グローバルビジネスITオフィスの3つに集約できる。これらのターゲットエリアに対し、新しいコミュニケーションシステム事業の展開を目指して、以下の点に力点を置いて取り組むとしている。

（１）NTTの次世代ネットワークシステム・サービスの研究・開発の支援事業

（２）「NTT-AT Global WAVE」商品とNTT研究・開発（R&D）の成果に基づく技術・システム商品を組み合わせて実現できる、より魅力的なソリューション（例えば、「NTT R&D INSIDE」）の企画・ビジネス展開事業

（３）これまで取り組んできたシステム事業の各技術分野に対し、マーケット動向、技術動向を踏まえた、一層のグレードアップによる事業展開

本特集の各論頁では、特に、

①IPv6時代をリードするIPアプリケーショントラフィック管理、次世代アプリケーションファイアウォール等、先進セキュリティシステム

②FMC技術によるユビキタスコミュニケーション、VOCALNET CT開発プラットフォーム、音声・映像（Voice&Video over IP）開発プラットフォーム、次世代映像通信システム

③顧客満足度向上を目指すマルチメディア・コンタクトセンタシステム、コラボレーションシステム

④ディザスタリカバリー（DR）を実現する超高速光IPネットワークシステム、次世代VoIP相互接続システム

⑤先進の光スイッチ装置、光コネクター清掃ツール（CLETOP）

等を紹介する。

本部全体で取り組む業務品質・サービス品質・ビジネス連携向上施策

NTT-AT コミュニケーションシステム事業本部では、業務品質・サービス品質・ビジネス連携の向上施策を本部全体で展開している。その推進役が企画部だ。「私どもは、事業企画や総括業務に加え、情報管理や環境対策への取組み、さらには公開テクニカルセミナー（年40回程度開催）・小規模ハンズオンセミナー・展示デモコーナーの企画運営、専門技術分野別検証のための“研修・デモ・検証設備”の構築支援を行っています。また、NTTグループ企業とのビジネス連携の強化にも取り組んでいます。」（企画部　渡辺巌部長）

NTTグループとの連携という面では、前述したように、「NTT-AT Global WAVE」商品とNTTグループの新ネットワークサービスを組み合わせたネットワークソリューションの商品化や、NTT R&D成果に基づくシステム・技術を組み合わせた業界別・業務分野別アプリケーションの商品化を営業部が中心となって展開している。

写真１「NTT-AT Global WAVE」公開テクニカルセミナーの模様

「ネットワークソリューションの商品化例としては、F5ネットワークス社の“FirePass リモートアクセスコントローラ”を組み込んだＮＴＴ東日本の“Ephelio VPN SSLキット”、さらにはビデオ会議システムとNTTコミュニケーションズのVPNサービスを組み合わせたものがあります。また、業界別・業務分野別アプリケーション商品は、VOCALNET緊急速報・安否確認システム（P-Wave）、可搬型ビデオ会議システム（Field Video Reporter）があります。」（営業部　谷口浩二部長）

（後列左より）営業部長 谷口 浩二氏　企画部長 渡辺 巌氏、
企画部担当課長 田尻 昭一氏　企画部課長代理 前川 由美子氏

「Ephelio VPN SSLキット」は、NTT東日本が提供するSSL-VPNのパッケージサービスである（図６）。また、「P-Wave」は、行政情報案内システムなど各種CTアプリケーションと併用可能な緊急速報・安否確認システムで、緊急地震速報、防災気象情報との連動が特長。「Field Video Reporter」は、NTT研究所技術でNTT-ATが開発したマルチホップ可搬型無線LANと、可搬型ビデオ会議端末を組み合わせたもので、災害時や緊急時、イベント開催時等に最適である（図７）。

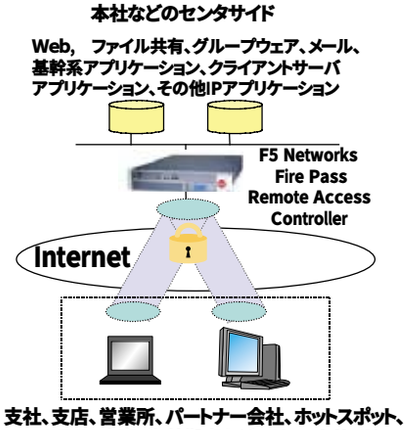

図６ Ephelio VPN SSLキット(一部)

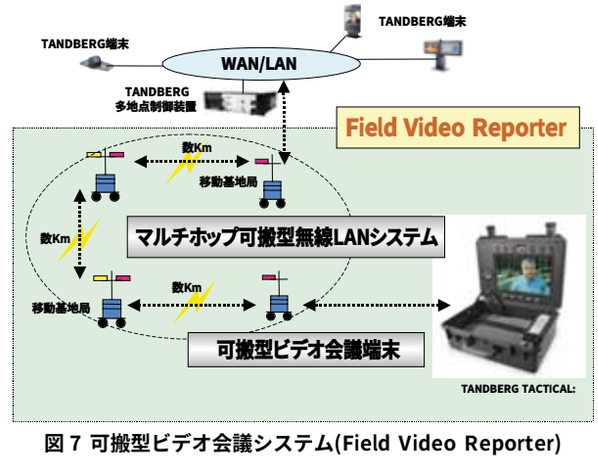

図７ 可搬型ビデオ会議システム(Field Video Reporter)

お問い合せ先
NTTアドバンステクノロジ㈱
コミュニケーションシステム事業本部
企画部／営業部
TEL:03-5956-9051／FAX:03-5956-9015
E-Mail:ngw@ntt-at.co.jp
URL:http://ngw.ntt-at.co.jp